

山田美智子のプロフィール

1. 立候補の決意

日本に緑の党を樹立させたい。その一念を持って、参議院選挙全国比例区予備選に立候補することを、熟考に熟考を重ねて決意しました。

「緑の党」は地方議員がいるにしても、環境重視の普通の市民の集団ではないか、そんなところに国政を委ねられるのか？という厳しい意見も受けました。しかし、市民の目線を失わず、現場主義で、私たちの暮らしこそが「政治」なのだという原点を持ち続けている議員の集団、そして、地球上の一つの種としての謙虚さを持ち、それゆえに自然環境とわれわれの人体と言う環境が繋がっていることを知り、誰も犠牲にせず、弱者の視点で、本当に豊かな社会のあり方を創り出してゆくことや、新たな経済活動への変化を生み出してゆくことに、なんのてらいもひるみもなく自然体で積み上げていける人たちの集団であることを、私は信じています。そこには、いわゆる右も左もありません。わが国と世界とのあり方に発展的調和が生み出す大きな力を得るためにも、この日本に政党としての緑の党の存在を切望しています。

今まで環境グループに属し、芦屋市議（8年）、兵庫県議（4年）として、活動してきた強みを生かして議席をとり、政策を実現し、次の世代にバトンを確実に引き継ぎたいと考えています。緑の党の議員として求められること全てに挑戦することを誓います。

- ・大病の経験なく健康です。

2. 特に関心の高い政策

①被災地復興のあり方や、子どもたちの健康被害等の問題は急を要します。

②一次産業の活性化から6次産業へも規制緩和を含め、幅広く取り組みます。

わが国の自然豊かな国土が持つ力を充分に引き出し、自然との共生をしてきた文化を基本に、地域からの変革を起こす力になりたいと思っています。そして地産地消の小水力発電を、あらゆる場所ごとに、その場にあった形で積み上げて生きたいと思っています。地域間の経済が競争でなく、補い合う関係になると、無駄がなくなるとともに仕事への満足感が生まれます。経済成長論のまやかさに、気づいてゆく人が増えるでしょう。

③原子力、石油に頼らないエネルギーの活用を廃棄物の減量化と共に実現します

電力で言えば、誰も語らない既存の水力発電能力を発揮させることを考えています。

④男女共同参画の推進、および推進に伴う子育て制度等に取り組みます。

⑤性犯罪被害者の救済ネットワークと、性犯罪者への教育制度の構築に頑張ります。

⑥医療、介護、団塊世代の終末期生活などの問題を解決できる制度を考えていきます。

⑦DV関係者、障がい者、難病患者、弱者政策に取り組みます。

⑧リユース制度を重視するよう、製造者責任の拡大解釈へ等でリサイクル法を改正する。

⑨水環境（河川、海洋、閉鎖的水域）の改善に取り組みます。

⑩貧困問題の一環で食のセーフティネットの構築に取り組みます。

経歴

- 1947年 岐阜県大垣市に誕生
- 1965年 岐阜県立大垣北高校を卒業・日本女子大学通信課程家政学部児童学科入学(67年中退) (株)十六銀行に入社(67年退社) 1967年 芦屋市大槻町に居住
- 1979年 「芦屋川に魚を増やそう会」の発足に係り、当初事務局を担当、会長、副会長歴任。
芦屋川にアユがのぼれる魚道づくりを提案。(1998年実現)
- 1984年 芦屋川のゲンジボタルを育成開始(毎年芦屋市の協力を得て6月初旬に「蛍観察会」)
- 1984年 「ヒナモロコ」の自然繁殖に成功。福岡市に100匹里帰りさせる。
- 1988年 「芦屋の自然林を守る会」を発足し会長就任 (国の補助事業(年事業・最長10年)の見直しを訴え活動の結果中止に成功。市民との事前協議の道を開く)
- 1990年 5年間の交渉で、砂防ダムを全国初、自然環境配慮の流木止めダムへ変更。
- 1991年 芦屋市商工会女性部発足世話人から初代会長就任(1998年退任)
- 1992年 原子力災害を案ずる市民の会で、阪神間の消防署に防護服の装備を訴える。
原発事故発生の場合、国への報告だけでなく県にも報告するよう訴え実現。
- 1992年 芦屋市の環境政策等に係り、様々な委員会に参加し始める
- 1993年 行動する環境グループ「葦の風」を発足し会長就任。(2007年退任)
- 1993年 アースデーin 芦屋に芦屋市を参画させる。(2000年まで継続、実行委員長を務める)
- 1993年 芦屋川河川環境計画検討委員会委員、 阪神ゴミ会議委員(1996年まで)
- 1994年 芦屋市環境審議会委員、 ひょうごふるさとづくり交流会議設立準備会世話人
- 1995年 芦屋市臨時的公務員としてガレキ処理班長として働き、処理費用の削減に寄与
- 1995年 阪神淡路大震災兵庫県復興計画準備委員会参画県下の地域交流に積極的に参加
- 1996年 環境省・環境カウンセラーに登録し活動を始める。
- 1996年 「復興交流祭IN芦屋」(自然との共生・都市と地方との交流)を主催し、5年間開催。
- 1996年 芦屋市環境計画推進委員会委員、環境づくり推進委員会会長(98年まで)
- 1997年 県商工会婦人部連合会幹事(98年退任)
- 1998年 芦屋市男女共同参画推進懇話会委員
- 1998年 兵庫県・自治賞 受賞(個人)
- 1998年 こころ豊かな兵庫づくり推進協議会・奨励賞受賞(行動する環境グループ葦の風)
- 1999年 芦屋市議会初当選 (9位)議会報「あしたからの風」毎月発行
- 2003年 芦屋市議会議員2期目当選(2位)「あしたからの風」隔月発行
- 2004年 「第10回 兵庫の川サミット IN 芦屋川」を開催。(環境大臣の基調講演、シンポジウム)
「未知普請近畿 in ひょうご」に参画・橋物語ワークショップを芦屋で担当
- 2007年 最大人口の一人区芦屋市で、兵庫県議会議員に14091票獲得し初当選 あしたからの風」年4回発行 国補助事業のミルクプラント建設を再調査で中止させる、DV 被害者支援対策、松枯れ防止空中散布問題、余布土、金地ダム反対、精神保健福祉研究、DV 被害者支援、廃棄物会計研究等 有馬と芦屋間で六甲ヒルクライム競技実現、